



高齢ドライバーによる交通事故を未然に防ぐ！ 「テレマティクス自動車保険×運転技能向上トレーニング」に関する協業開始

2019年9月13日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉 恭三、）は、高齢ドライバーによる交通事故が社会課題化する中、国立大学法人東北大学（以下「東北大学」）加齢医学研究所と株式会社仙台放送（以下「仙台放送」）が共同開発した「運転技能向上トレーニング・アプリ」※1による、新たな安全運転支援取組みに賛同し、「運転技能向上トレーニングの普及促進・サービス開発に向けた連携・協力」に関して合意し、協業取組みを開始していくことをお知らせいたします。

当社は、「テレマティクス自動車保険※2×運転技能向上トレーニング」の実現によって、高齢者の運転能力や認知機能の低下を抑制し、住み慣れた地域で誰もが安全・安心に生活できる地域社会づくりに貢献することを目指します。

※1 東北大学加齢医学研究所と仙台放送が産学連携により共同開発した「トレーニング・アプリ」で、川島隆太教授による脳科学研究の成果と仙台放送が開発・放送している脳のトレーニング番組『川島隆太教授のテレビいきいき脳体操』の知見から開発されました（特許 6284171 号）。テレビやタブレット等の端末を利用した「作業速度訓練による安全運転能力向上プログラム」で、実際の運転行為や疑似運転行為（シミュレーター等）を伴わない日常的な認知トレーニングにより、運転技能の維持・向上を目指すものです。

※2 テレマティクスとは、「テレコミュニケーション」と「インフォマティクス」を組み合わせた造語で、カーナビや GPS 等の車載器と移動体通信システムを利用して、様々な情報やサービスを提供する仕組みです。当社は、「事故を起こさないお客さま」にも付加価値を提供することを目指し、2018年4月に国内初の運転挙動保険料反映型テレマティクス自動車保険『タフ・つながるクルマの保険』を発売しました。また、2020年1月には、通信機能付きドライブレコーダー端末による運転挙動保険料反映型テレマティクス自動車保険『タフ・見守るクルマの保険プラス』を新たに発売します。

1. 実施の背景

当社は、テレマティクス自動車保険のパイオニアとして、「事故を起こさない保険」の開発・提供を通じ、「安全・安心なクルマ社会の実現」への貢献に取り組んでいます。

東北大学加齢医学研究所と仙台放送が取り組む「運転技能向上トレーニング」の普及促進は、高齢になってもより多くのドライバーに末長く安全に運転を楽しんでもらうことにつながり、ひいては人生100年時代に活力あるシニアを増やしていくことが地域社会の活性化と発展につながるものと考え、本アプリの社会実装化に向けた協業取組みを展開していくことで、誰もが安全・安心に生活できる地域社会づくりに貢献することを目指します。

2. 協業取組みの内容

(1) 地域自治体等と連携した、安全・安心なクルマ社会の実現への貢献

「運転技能向上トレーニング」について広く周知してもらうため、2019年10月開催予定の「東北・みやぎ復興マラソン 2019」（主催：仙台放送）や、当社と包括連携協定を締結している地域自治体等と連携して開催する事故防止イベント等の中でトレーニング・アプリの体験ブースを設置する等により、宮城県発の取組みとして全国へ広く周知を図り、地域の安全対策と地域の活性化を目的として、普及啓発に向けた活動を展開します。

また、宮城県内の複数の地域自治体との先行トライアルの実施の検討を含め、地域自治体や本取組みに共感いただいた保険代理店から情宣し、地域の公共施設や保険代理店の店舗等に設置する等、利用者が日常的に使用できる機会を持てる場を用意することで、社会実装化に向けた活動を行っていく方針です。

(2) テレマティクス自動車保険と連動した新たな保険サービスの開発

当社が提供する「テレマティクス自動車保険」における安全運転を喚起するお客さまサービスの向上策として、東北大学加齢医学研究所と仙台放送が提供・開発する「運転技能向上トレーニング・アプリ」を活用し、日常生活の中でより多くの利用者に安全・安心を提供するため、今年度内の提供開始を目指して新たな保険サービスの開発を検討します。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



主に貢献しているSDGs目標



「運転技能向上トレーニング・アプリ」の内容のご紹介

「運転技能向上トレーニング・アプリ」とは

- ・脳トレゲームで有名な東北大学・川島隆太教授と仙台放送が共同で発明・開発した世界初の「運転技能向上トレーニング用」のアプリ。1日20分・6週間という短期間で自動車運転技能と認知力と活力が向上することを実証（2019年5月発表の研究成果より）。
- ・テレビ接続型（HDMIケーブル使用）ゲーム機を使用したサービス「川島隆太教授のいきいき脳体操～テレビで楽しくトレーニング～」を2019年春から実施中
★公式URL：<http://www.ox-tv.co.jp/brain/tv-training/>
- ・収録ゲームは6種類（運転技能ゲーム3種類、脳トレゲーム3種類）、特許取得済み（特許6284171号）

<画面イメージ>



【監修者・東北大学加齢医学研究所長 川島隆太教授にお伺いしました】

Q. 本トレーニング・アプリはどのような内容ですか？

A. 安全運転に必要な脳の働きは認知、判断、操作で、認知と判断は二十歳をピークに低下します。ゲームで認知能力を保てれば「安全運転寿命」を延ばせるのではないかと考え、開発に取り組みました。

ドライバーの事故は、脳科学の観点からすると、脳機能の低下、主に大脳の前頭前野の知覚、予測の力が落ちることが原因と考えられます。

言い換えれば、前頭前野をトレーニングすると、運転のほぼ全ての場面、例えば何か危険なものを察知する能力、それを避けようとする判断の力が向上します。今回開発した「運転技能向上トレーニング」は、運転の場面に即した前頭前野を使うトレーニングを組み合わせています。

地方では運転できないと、人生の質が下がってしまいます。安全運転能力を伸ばすことでいつまでも生き生きと暮らしていける社会を創生することができるのです。

